

コード番号 B011

講習名	【選択必修】小学校プログラミング教育のねらいと授業の在り方				
開設日時	8月17日(火)	担当講師	長谷川 春生		
会場	富山大学(五福キャンパス)	募集人数	20人	時間数	6時間
認定対象職種	教諭・養護教諭・栄養教諭	主な受講対象者	免許職種、教科等	特定しない	
			学校種	小学校教諭	
			職務経験等	特定しない	
受講料	6,000円	受講料以外の経費	なし		
<p><b>講習の概要</b></p> <p>小学校プログラミング教育のねらいについて解説した上で、授業実践事例や小学生が使用可能なプログラミング言語を紹介する。またこれらと関連させて、データサイエンスとの関わりが深いAIもプログラミングにより実現していること、児童がプログラミングをするためのICT環境の重要性についても解説する。その後、受講者からは、プログラミング体験とそれを基にしたプログラミング教育の在り方についてのディスカッションをしてもらう。これらにより、プログラミング教育のねらい等を理解した上で授業が実施ができるようする。</p>					
<p><b>到達目標及びテーマ</b></p> <p>小学校におけるプログラミング教育のねらい、プログラミングとAI等との関わりやプログラミング教育におけるICT環境の重要性、教科等における授業実践事例を理解した上で、実際にプログラミングを体験し、参加者同士でディスカッションすることを通してさらに具体的な理解を深め、小学校におけるプログラミング教育を着実に実施できるようにする。</p>					
<p><b>講習の授業計画</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(9:00-10:00) 小学校学習指導要領(平成29年3月公示)で示されたプログラミングの内容と導入の経緯</li> <li>(10:10-11:10) プログラミングとAI等との関わり、ICT環境の活用方法、具体的な授業実践例</li> <li>(11:20-12:20) 子どもたちが使用可能なプログラミング言語</li> <li>(13:20-14:20) プログラミング体験(誰にでもできる簡単な作品作りを行う)</li> <li>(14:30-15:30) 教科等におけるプログラミングの取り入れ方に関するディスカッション</li> <li>(15:40-16:40) 筆記試験</li> </ol> <p>※試験終了後、受講者評価アンケートを実施する。</p>					
テキスト	<p>文部科学省「小学校プログラミング教育の手引(第三版)」を文部科学省ホームページよりダウンロードして印刷し、持参する。  <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1403162.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1403162.htm</a></p>				
参考資料等	なし				
履修認定(試験)の方法	筆記試験				
留意事項(各自で準備するものなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミング体験の際に使用するタブレットPC等はこちらで準備します。</li> <li>・プログラミングの経験が少ない方を対象に講義内容を設定しています。</li> </ul>				
備考					